



在宅医療・介護連携を「輪」でつなぐ・・・

WAO!通信

【発行元】

泉佐野泉南医師会 地域連携室
〒598-0063 泉佐野市湊1-1-30
☎072-464-6123 FAX 072-464-6133
E-mail renkei@sano.osaka.med.or.jp
URL http://www.sano.osaka.med.or.jp

わ・リレーコラム

第56走者



医師

田中 雅博先生

りんくう永山病院

【泉佐野市】

2022年、健康寿命の延伸のため日本医学会連合から「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」が発表され、80歳での活動性の維持を目標として「80GO（ハチマルゴー）」運動の展開が掲げられました。この目標の達成には骨粗鬆症対策による脆弱性骨折予防が重要です。骨粗鬆症は無症候性であり、患者さんが自身で医療機関を受診することは稀です。放置された骨粗鬆症は、不慮の転倒による脆弱性骨折という形で卒中型発症し、その後の高齢者のADL、QOLや生命予後を著しく低下させます。

昨年診療報酬改定では大腿骨近位部骨折に対する二次性骨折予防継続管理料が新設されました。骨粗鬆症治療の効果判定にはDXA装置による腰椎、大腿骨の骨密度測定は不可欠であり、有害事象予防のための歯科受診も必要であり、病病、病診、診診、医歯薬連携が不可欠です。泉佐野市では新たな骨粗鬆症検診も準備されています。医学団体だけでなく産官学ならびに地域住民が相互に協力し、さらに転倒、サルコペニア、軽度認知機能障害、ポリファーマシーなどフレイルへの包括的なアプローチにより、当地域における健康寿命延伸のための対策に取り組みましょう。

引き続きご指導、ご協力よろしくお願ひいたします。

活動報告

With コロナ！ 各市町の研修会

- ・R4.11.19（土）阪南市はなていネット多職種向け講演会
- ・R4.11.25（金）岬町多職種連携研修会
- ・R4.11.30（水）田尻町住民向け講座
- ・R4.12.22（木）泉佐野市多職種向け研修会

コロナ禍でweb研修会が主流でしたが、各市町、対面での開催が多くなってきました。参加者の方々からも、久々の対面開催に「良かった」「有意義だった」とのお声をいただいています。今後も多職種のスムーズな連携、取組みのため、顔の見える関係づくりを進めていきたいと思ひます。

今月のWAO!さん

【熊取町】熊取町 健康福祉部 介護保険課
山本 奈央 さん



昨年4月から認知症施策担当になりました。コロナ禍で、『交流』をどう保つかが課題でしたが、熊取ふれあいセンターでのひまわり（認知症）カフェを定期的開催したことで、住民やキャラバン・メイト、専門職との間に新たに関係ができました。カフェを起点とした、認知症施策の展開をしたいと思ひています。

日々悩みますが、『住民のために』という気持ちを忘れずに頑張りたく思ひます。

賛同機関

泉佐野泉南医師会 泉佐野泉南歯科医師会 泉佐野薬剤師会 泉南薬剤師会 訪問看護 通所介護 理学療法士会
作業療法士会 ケアマネ連絡会 病院 6市町行政（高齢介護担当課） 地域包括支援センター 泉佐野保健所 他